

第 1717 回例会報告

令和3年12月2日(木)曇り

会長挨拶

『米山梅吉記念館に 行ってきました！』 会長 小口直久

先週の日曜日、国際奉仕委員会とクラブ奉仕委員会の共同企画で、米山梅吉記念館での例会も兼ねた親睦旅行に行ってきました。

当日は本当に天気も良く、最高の旅行日和となりました。

今回の参加者は全員で16名。下諏訪文化センターを出発し長崎会員のところでお酒を調達し、そのまま諏訪インターから静岡方面に向けて出発しました。予定では大月回経路で行く予定でしたが、中部横断自動車道も開通したということで、清水を経由して三島方面へと向かいました。途中、富士山が見えましたが雲が何もかかっておらず車から見るその姿は本当に素晴らしかったです。

今回、この米山梅吉記念館見学例会については、計画の段階から成山国際委員長から相談があり、コロナ禍ということで実現できるかどうか不安もありましたが、委員長の米山財団の寄付金を集めるのに自分も勉強したいし、皆にも理解して寄付していただ

いた方がいいんじゃないかという思いがあって、今回この企画を計画させていただきました。

そして、成山委員長の提案で米山梅吉記念館で例会をするにあたり、きちんと例会を行いたいという思いから、例会が終わるまでは参加いただいた皆さんには大変辛い思いをさせかどうか分かりませんが・・・それまではお酒は無しということで、お茶を飲みながら車の中で楽しい時間を過ごしながら現場へと向かいました。

米山梅吉記念館では地元のボランティアのロータリアン3名の方々が、我々を暖かく迎え入れていただきました。そして着くと同時に例会場へ向かい、1716回例会セレモニーを行いました。

実は、前日に成山国際委員長はプライベートでこの近くに来ていたそうで、諏訪湖ロータリー旗とスローガン旗を設置していただきました。そんな中で第1716回例会セレモニーを行い、セレモニー終了後にこの記念館のガイドさんに館内を案内してもらいました。

米山梅吉は東京ロータリークラブの創設者という事はロータリアンであればだれもが知っていると思いますが、その人となりというのは知っている方はあまりいないかと思えます。特に裕福な家庭に生まれ育ったわけではなく、父を亡くし母の実家のある三島へ戻り、米山家に養子に入り、子供の頃からしっかり

| ♪出席報告 | | ♪ニコニコBOX | | ♪今週のことば |
|-------|-------|----------|----------|--|
| 会員数 | 37人 | 9人 | 13,000円 | 米山記念館へ行って米山梅吉についてたくさん学んできましたが、ロータリーの創始者ポール・ハリスについても知ってほしいと思います 溝口幸二 米山梅吉記念館訪問旅行、運営された役員諸兄の頑張りに感動し感謝いたしております。得た知識で頑張ります 御子柴文夫 ご無沙汰しております。冬になりますと仕事がなくなり出稼ぎです。早く春になってほしいこの頃です 森山広 本日はお忙しい中駒ヶ根ロータリークラブの地区ロータリー財団委員会、地区補助金小委員会委員長 滝澤義一郎様にお越しいただきありがとうございます。本日の財団のお話楽しみにしております。本日はよろしくお願ひいたします 小口直久 地区ロータリー財団委員会、地区補助金委員会 滝澤義一郎委員長様。本日はよろしくお願ひいたします 宮坂英貴 滝沢様 本日はよろしくお願ひいたします。 吉澤邦雄 前回例会の帰りのビンゴでは、ありがとうございます。おみやげにひものを買わなかったのですが、おいしいひものをありがとうございました 萩田均 |
| 出席対象 | 36人 | 累計 | 231,000円 | |
| 出席者数 | 20人 | 目標額 | 60万円 | |
| 出席率 | 55.6% | 達成率 | 38.5% | |
| 前回修正 | 69.4% | | | |



2021-2022 年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「温故知新」

勉強して20歳で単身に渡米、帰国後は財界人として立派な地位を築きました。家庭を持ち、5人の子供を授かりますが、2人の子供を亡くしたことでお金に恵まれず勉強ができない子供たちに為に自分の名前を伏せてこの子供たちの支援をしたり、学校の設立や病院の慰問等多くの社会貢献してきたことを改めてこの米山梅吉記念館で知ることになりました。改めて米山梅吉の人生、人間力を知ることによってロータリーへの思いもさらに深くなりました。

この記念館を後にする前に、米山梅吉記念館は米山奨学会とは関係がなく、純粋に寄付金で運営されているということをお聞きしましたので、参加者からいただいたニコニコボックスの寄付金を全額米山記念館のスマイルボックスに寄付しました。

会館の皆さんには本当に良くして頂き、こちらの立派な本をいただいて参りました。こちらの本は後で回しますをご覧ください。

米山梅吉記念館を出発し、沼津港へお昼をいただきに向かいました。ここからはお酒も解禁で、美味しいお魚も満喫し、帰りのバス内で行うビンゴの景品の干物も調達し、すべての予定を終え長野へと向かいました。帰りのバス内では望月クラブ奉仕委員長がクリスマス例会の予行演習の為、ビンゴの司会をしていただき楽しい時間を過ごしながら帰ってきました。

今回この例会を兼ねた親睦旅行を企画していただいた成山国際奉仕委員長、望月クラブ奉仕委員長、そしてこの企画を実行するために蔭で動いていた北原会員には心より感謝を申し上げます。

行くバスの中で渡邊会員から泊まりでいければよかったなあとおっしゃられたのですが、本当にコロナ以前のように泊りできる親睦旅行が早くできるといいなど改めて帰りの車中で思いました

今回の例会を兼ねた親睦旅行の報告と、私の感じたこととお話しさせていただきました。

ロータリーを学ぶきっかけになればと思います。

◇幹事報告◇

【連絡事項】

- 1)ロータリーレートは 114円との連絡が来ました。
- 2)ロータリーの友・月信が届きました

【受領文書】

- 1)財団ニュースが届きました。回覧いたします。
- 2)米山梅吉記念館の記念誌が届きました。配布いたします。

第1717回例会

『ロータリー財団現状と今年度の目標』

RI2600地区ロータリー財団委員会

地区補助金小委員会委員長

滝澤義一郎様

担当 国際奉仕委員会

滝澤様は冒頭「あまりよくわかっていないので先輩の方々に教えてほしい、間違いを正してほしい」と



おっしゃっていましたが、素晴らしい知識と分かり易い語り口で大変感動しました

これは私だけかもしれませんが、財団の寄付の種類の説明は、なかなか聞く機会も少なく良い機会でした。特に、シェアシステムについての説明は自分の誤解のいくつかを訂正していただきました。例えばクラブが1000\$ 寄付するとDDF(地区財団活動資金)として戻ってくるのは45%、そしてクラブに還元されるのは最大でその半分のすなわち225\$ (22.5%)がクラブに還元されるというのはよく納得できました。時々「えっ！これしか地区資金認められないの？」という謎が解けました



ポール・ハリスの話もおもしろく機会がありましたら、ぜひもう一度お話を聞きたいものです

